

臨床研究に関するお知らせ

2017年7月1日

＜研究の名称＞

## 「高齢患者の内科疾患入院の入院前後内服薬の 適切性への影響に関する観察研究」

当院で以下に説明する研究(調査)をすることになりましたのでご案内します。

### ◆研究(調査)の対象となられる方と方法

2017年5月1日以降に当院内科に入院された65歳以上の方で、急性疾患が理由で入院された方が対象になります。診療録(カルテ)に記載された既往歴、内服薬、診療内容などを調べて研究(調査)に使わせて頂きます。個人情報とはデータ収集の時点で匿名化し厳重な保護を行います。従って研究結果の発表に際して個人が特定されることはありません。

### ◆研究(調査)の背景と目的

社会の高齢化に伴い多くの病気を持つ高齢者が増え、多くの薬を内服する高齢者が増えています。一般的に入院をすると薬剤数は増えることが多いと思います。しかしながら、具体的に薬剤数や薬剤処方 of 適切性が入院前後でどう変化しているか日本ではほとんど検証されていません。そこで、今回入院が高齢者の薬剤ないし薬剤処方の適切性にどう影響しているかを検証します。

この期間に当院内科を入院されたことがある患者様で、もしご自身のデータを研究(調査)に使用されたくない場合は、診療情報を使用致しませんので、下記のお問い合わせ窓口まで、お申し出ください。なお、この研究で新たなご負担はありません。

### ◆お問い合わせ窓口(平日 13:00-16:00)

国立病院機構 栃木医療センター 内科 駒ヶ嶺 順平 電話：028-622-5241